



災害に対する意識を高めよう

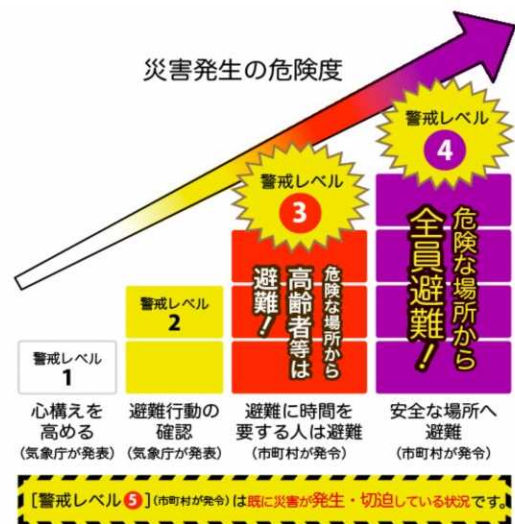
近年、よく目にする激甚災害や台風、線状降水帯による豪雨災害は、私たちが暮らす与謝野町でも対岸の火事ではありません。町民の皆さんの命や財産に危険が及ぶ土砂災害や洪水・河川の氾濫がいつどこで起こるか分かりません。今一度、皆さんにも災害に対する意識を高めていただきたいと思います。

そのためには、気象情報や与謝野町が発令する情報を正確にキャッチし、行動に移すことが大切です。「自分を守るのは自分自身」であることを家族や近隣住民の方々と共有し、万が一の災害に備えましょう。



平成 30 年 7 月の大雨で冠水した国道 176 号 (上) と増水した香河川 (下)

警戒レベルを確認しよう — レベル 4 で「全員避難」 —



災害に備える 3 つのポイント

- 与謝野町作成の洪水・土砂災害ハザードマップなどを確認し、出先で被害にあった場合の家族の集合場所を決めておく。
- 避難先は、自宅の最寄りの避難所や安全な親戚・知人宅を候補にする。
- 緊急時に持ち出す「防災バック (水・非常食・簡易トイレ・軍手など)」を準備しておく。



ハザードマップ (町ホームページ)



Event Information — 与謝野町消防団「町長査閲」 —

7.9 SUN AM9:00

【場所】大江山運動公園グラウンド

※ 荒天の場合は、7月16日(日)に順延

消防団員が各個訓練(停止間・行進間)、小・中隊訓練・操法訓練・火災想定訓練などを披露します。皆さん多数お集まりください。

皆 さん、こんにちは。加悦中学校 ALT のダークです。6月になり汗ばむ陽気となつてきました。今年も昨年と同様、とても暑い夏が到来しそうですね。

今年は日本に来てから 2 回目の春を体験しました。日本の春というと美しい桜がとても印象的です。春には、滝地区の道の駅近くにある野田川親水公園にて美しい桜を見ながら花見を楽しみました。

野田川親水公園のほかに与謝野町には多くの桜の名所があります。今年も美しい桜をよりたくさん見たいため、奈良県の吉野山に向かいました。約 3 万本の桜の木々を一望できる吉野山の頂上からの景色はまさに絶景であり、息をのむほどの美しい景色が広がっていました。

この美しい景色は、とても言葉や写真だけでは表現しきれないものでしたので、皆さんもぜひご自身の目でお確かめください。また、桜の魅力は美しいだけでなく、はかなく散る



2 週間限定の美しいヒナギク

姿にもあると思います。桜の季節の終わりに桜が散る姿は、まるで宮崎駿の映画のワンシーンのように美しく幻想的です。

さて桜ではないですが、私の母国である南アフリカでも美しさが印象的な花があります。それはナマクアランドの「ヒナギク」です。この場所は普段はとても乾燥した地域であり、地球上のどこよりも火星に似た景色が広がっています。しかし、春の訪れとともに約 2 週間のみ青・紫・赤・白・黄・オレンジなど、さまざまな色のヒナギクが咲き乱れ、美しい風景を作り出します。

日本の桜も南アフリカのヒナギクもどちらにも共通して言えることは、期間限定の美しさを持っているということです。常に美しいものは飽きてしまいが、期間限定の美しさには特別感があり、より印象に残ります。

皆さんのお気に入りの美しさは何でしょうか。日々の生活の中で見つけてみるとおもしろいかもしれません。

時の贈り物 [第 127 回 与謝野の氏神祭り③ 三河内曳山祭、山屋台の導入]

春 の三河内区曳山祭は、倭文神社を氏神として 6 町内会がそれぞれに祭礼屋台を曳き出します。6 町内会のうち、山屋台を曳き出すのは、大道町内会・中坪町内会・上之町・奥地町内会の 4 地区です。三河内曳山祭の山屋台は峰山城下町型で、明治時代の初期に新たに導入されたものとされています。これ以前は、江戸時代から続く担い屋台を基調としていました。

山屋台の導入経過を記録した 1 次資料は少ないようですが、伝聞記録によると、その導入は、奥地町内会が峰山の織元町の山屋台を購入し、上之町が峰山の浪花町の山屋台を購入しました。三河内区曳山祭の山屋台が峰山城下町型である理由はここにありまます。また、大道町内会と中坪町内会は中古の屋台ではなく、新品を制作しました。その際も峰山城下町型で統一しています。なお、奥地町内会と上



之町の今の山屋台は、その後新調された 2 代目です。

祭礼屋台の制作には多額の経費がかかります。ましてや山屋台は、幕類も含めとても高額です。山屋台の導入は、織物業の発展を基盤とした三河内区民の経済力の上昇を最もよく示し、かつ、三河内区民の心意気の結晶でもあります。(与謝野町教育委員会)